

## 街中の話題

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年04月07日

---

### ①間伐材で長椅子作り

戸越銀座商店街に山梨県早川町（\*）の間伐材で作った長椅子が設置されます。町会会館で、親子で環境に優しい塗料を塗り、組立てしました。



（\*）品川区と「ふるさと交流協定」を結び、活発な交流を続けています。

20脚が3つの商店街に設置されるそうです。ピンクと紺のつなぎを着てみんなで塗装作業をしました。

### ②マリンブルーザリガニ

子どもたちが自然と触れ合う機会を設けようと、昨年八潮地区の川でサリガニ釣りを行いましたが、そのザリガニがマリンブルーに変化しました。子どもも生まれています。小さいので未だ色が確認できませんが、ブルーかな？ 餌の影響かも・・・市販の餌だそうです。終日蛍光灯点灯の影響かも・・・街の小さな話題になっています。

### ③金のなる木

道路に面した庭先で、満開になりました。実が楽しみと言いながら通りすぎています。



平成27年3月29日

志賀 勝（記者NO.060110）

---

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年04月07日

## しながわ区民公園と花海道の今（桜）

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年04月08日

毎週金曜日、新馬場のPC教室に通っています。いつも区民公園を抜けて立会川まで、大森海岸駅から立会川駅までの一駅間を歩いています。今朝は曇り空のため桜の美しさを欠いていましたが、今が満開ですので撮ってみました。

区民公園の「桜の広場」は、強い風に吹かれて花吹雪、桜のじゅうたんに・・・

珍しい紅いマンサクがピンクの桜の中で映えていました。このマンサクは同公園で以前からある樹で、桜とほぼ時期に花を咲かせるようです。マンサクの語源は明らかではありませんが、早春に咲くことから、「まず咲く」「まんずさく」が東北地方で訛ったものともいわれています。



しながわ区民公園 桜の広場



同 ベニバナトキワマンサク

勝島運河の花海道と新浜川公園にも寄ってみました。

菜の花に桜、柳と桜、コントラストがとてもきれいでした。

小鳥がしきりに蜜を吸っていました（赤楯円内）が、小鳥にとっても桜の開花は待ち遠しかったのでしょうか。



平成27年4月3日

真壁美枝子（記者NO.080103）

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年04月08日

## 聖蹟公園内の清掃活動

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年04月28日

品川区が推進している「みどりと花のボランティア活動」に、会社の有志を募って『品川フラワーレンジャー』という活動名で5年前から継続参加しています。

季節に応じて年4回の花の植替えと、適宜水撒きをしながら花壇を管理し、公園の清掃美化活動をしています。今回は、4月24日（金）17時から聖蹟公園内の清掃活動についての報告です。



日が長くなりこの時間でも子供が遊んでいます。



陽気も良くなってきて雑草が伸び始めたので、花壇の手入れとして草抜きをしました。



花壇周辺のはき掃除をして、お花に水をやっていたら、変な風景が目に入りました。

これぞ「珍百景」、梅の木にバナナの皮がなっている？と言っている場合ではなく、何たることか！



全て回収しましたが、人の心はわかりません。恥ずかしい。

綺麗になったので帰ります。

本日の清掃は、品川フラワーレンジャー 小野、青柳でおこないました。

平成27年4月27日

小野文義（環境記者NO.090107）

---

**カテゴリ:** 平成27年度

**投稿日:** 2015年04月28日

## 今年初めてアゲハの幼虫を確認

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年05月08日

会社の花壇にはゆずの木、レモンの木、甘夏が植わっていますが、今日（2015年5月1日）花壇の水撒きをしていたら、ナミアゲハの幼虫がゆずの木にいました。去年は幼虫が少なかった気がしますが、今年は多くなる予感があります。



今年は甘夏、レモンの木、ゆずの木と沢山のつぼみがつき、写真下の甘夏の木はいくつか花が開きました。



植えて6年目ですがこんなにつぼみがついたことがないので秋が楽しみです。

今年1月に5個ほど収穫した甘夏は空気に触れないようにラップで包み、熟成後4月末に食べてみました。

旧海岸通り沿の交通量の多い道路わきの花壇で、甘くみずみずしいものになっていましたので感動しました。



平成27年5月1日

小野文義（記者NO. 090107）

---

**カテゴリ**：平成27年度

**投稿日**：2015年05月08日

## 古着リサイクル活動の紹介

**カテゴリ** : 平成27年度

**投稿日** : 2015年05月13日

---

西中延三丁目町会婦人部有志による、古着のリサイクルについて報告いたします。目的は古着の活用と吊飾りの制作です

三年前の4月、9名の有志により、古着のリサイクルを目的とした吊飾りの制作を始めたそうです。家で眠っている古い着物は歴史と愛着があり、吊飾りへの変身は皆様を引き付ける何かがあるようです。

月一回制作発表の機会を設けて制作してきたところ、題材の造形（節句用の吊飾り等）による作品が100件以上完成し、この度5月9日（土）10日（日）の2日間、区の第4地域センター会議室に於いて展示会を開催され、約150名の見学者を迎えての会となったそうです。



平成27年5月12日

中西義治(記者NO.060108)

---

**カテゴリ** : 平成27年度

**投稿日** : 2015年05月13日

## 自動車と道路照明（研究事例紹介）

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年05月19日

道路照明の設計は、自動車・歩行者・トンネル・地下道に大きく分類され、それぞれ、安全性・機能性の諸条件を満たさなければなりません。

現在の設置された道路灯（国内約340万灯）は、要求される諸条件をクリアした設計であると同時に、省エネ（高速道路照明の電力費80億円／年だそうです）・外的環境や要因に対し、未来へ向け研究がすすんでいます。

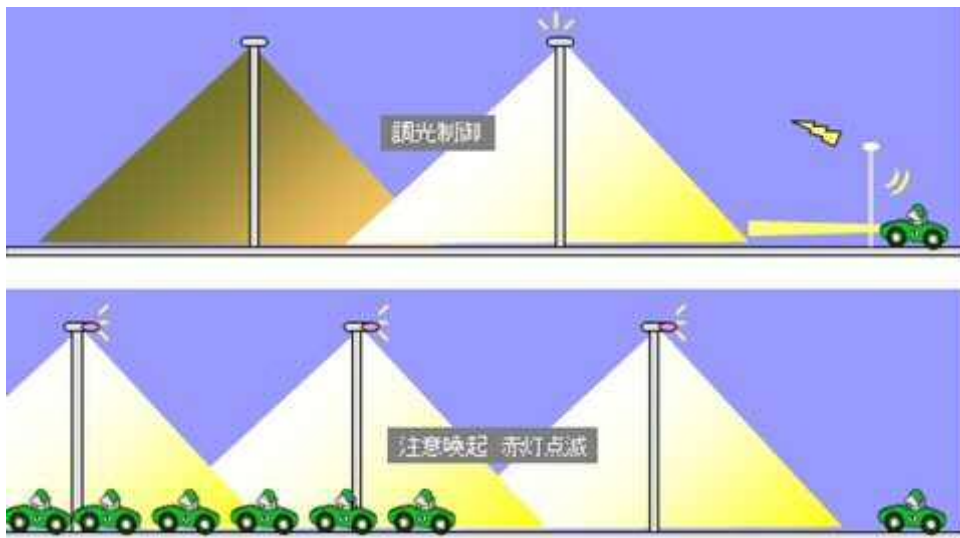
ITS（高度道路交通システム）の開発が、世界的に活発になっています。

安全運転システム・自動運転システム・車とインフラ情報などを取り込み、これらの技術は最近よく耳にします。一部の自動車には、ヘッドランプのハイビーム・すれ違いビームの自動切換システムが搭載されています。交通量が多く、複雑な交通環境でなければ、より遠くビームを照射する方が安全性は高いので、この機能は便利で有効です。

車載カメラと処理技術の進歩と低価格がすすみ、搭載車種が増えています。

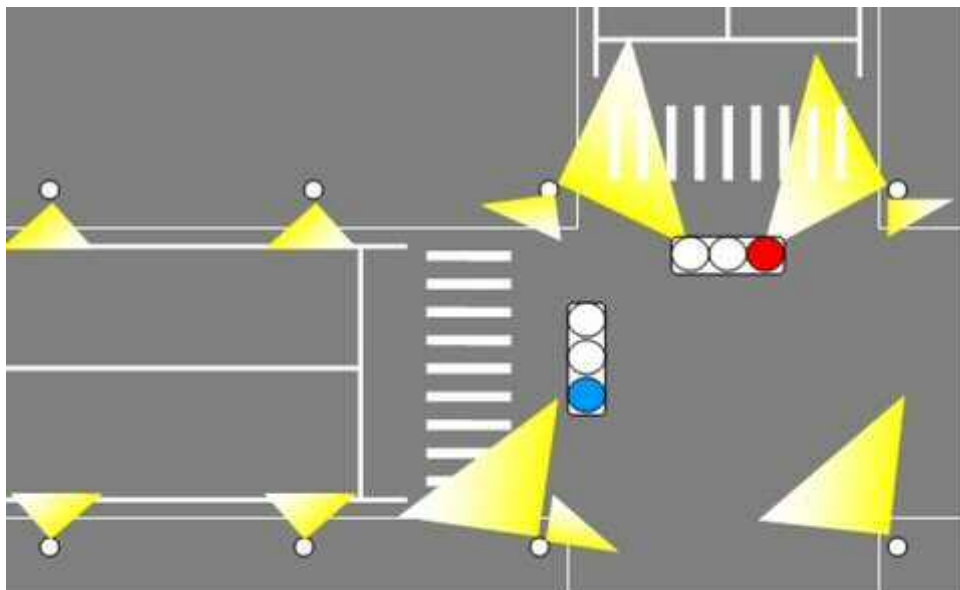
それらの情報通信システムの構築や、無線送信による、様々な道路灯の制御が研究されています。

### 一般道路の道路灯制御 イメージ例



### 道路灯の照射角の可変制御 イメージ例

自動車の右折・左折時に横断歩道方向へ、照射することで歩行者の視認性の向上が見込めます。

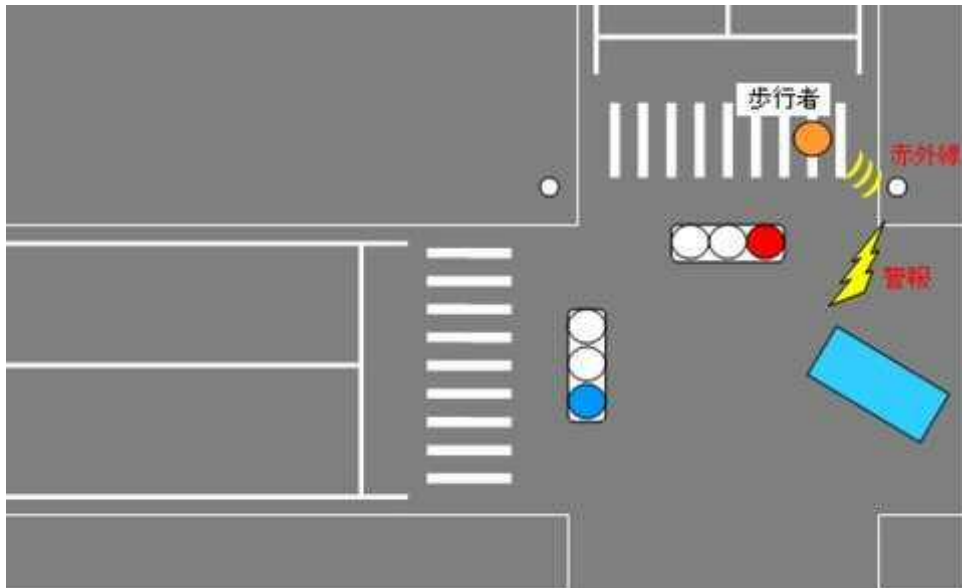


### 自動車への通報システム イメージ例

歩行者の存在を検知した道路灯から信号をカーナビで受信し、「歩行者がいます」の警告音声へ変換する事で、実



用可能とされています。



平成27年5月14日  
辻本喜律（記者NO. 110101）

---

**カテゴリ**：平成27年度

**投稿日**：2015年05月19日

## 「緑のカーテン作り」に再チャレンジ！

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年05月26日

4月19日（日）品川区環境情報センター主催の環境学習講座「緑のカーテンを作しましょう！」に参加、昨年もチャレンジしたのですが、ゴーヤが数個5、6個の実がついただけ、十分に観賞しました。

「今年こそは・・・」 気合十分です！

種まきして10日後の状態です。朝顔が最初に発芽しました。【4月28日撮影】



18日目ゴーヤも発芽、一番に発芽したゴーヤは勢いが違います。【5月7日撮影】



【発芽状況】暑い日が続いたこともあり、昨年より早く発芽したように思います。

発芽順	種類	種の個数	発芽
①	朝顔	4	3
②	ゴーヤ	9	6
③	ヘチマ	4	2

今年はフルイを購入！古い土を丁寧にフルイにかけ、腐葉土、配合肥料をいれて、苗床をつくり、本葉が3枚程度になったので、5月13日に本植えました。

一か月目の発育状態【5月21日撮影】



朝顔 13 cm



ゴーヤ 18 cm



ヘチマ 10 cm

次の作業は添え木とネット張り、花芽の受粉！ その次が楽しみです。

平成26年5月23日

真壁美枝子（記者NO.080103）

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年05月26日



## ポプリを作って楽しみました

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年05月29日

咲き終わった春の花の花弁を摘んで自然乾燥させ、ポプリを作って楽しみました。

### ①ドライポプリ

ジップ袋に、自然乾燥させた花弁+香草（ラベンダー・ペパーミント・オレンジの皮・ローズの花弁）+好きな香りのスパイスを選んで良く混ぜる。

スパイス（オリスルート・乳香・グローブ・シナモン）は、乳棒を使い細かくすりつぶす。

### ②ウエットポプリ（洗面所等湿気多い場所に置く）

広口ビンに、自然乾燥させた花弁+荒塩+香草（ラベンダー・ペパーミント・オレンジの皮・ローズの花弁）+スパイス（オリスルート・乳香・グローブ・シナモン）

使用量の目安：花弁と香草各カップ（150cc）1杯、スパイス小さじ1。荒塩200g。

①②ともに一週間の間は、ときど混ぜながら日陰に置く。そして1ヶ月後に出来上がる。



いままで、咲き終わった花は乾燥機に入れ、古い土に混ぜて土壌づくりをしていましたが、今回の経験で、自分で育てて咲かせた美しい花を使ってポプリを作り、毎日部屋で眺めながら香りを長く楽しむという楽しみ方が一つ増えました。みんな大喜びで、笑顔で持ち帰りました。8月30日（日）戸越銀座祭りの日に、足湯に浮かべて楽しむアイデアもできました。お楽しみに！

5月15日（金）平塚二丁目町会「花と緑の部」講習会より

平成27年5月17日

志賀 勝（記者NO.060110）

**カテゴリ** : 平成27年度

**投稿日** : 2015年05月29日

## 空気が汚れて（２）

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年05月29日

---



以前、会社花壇のゆずの木の葉が黒く汚れる記事を投稿しましたが(\*)、新東海橋交差点に位置することもあり、交通量の多さから排気ガスが影響しているのかなと思っていました。しかし、詳しく調べましたらこの現象は「すす病」という病気の様です。原因はアブラムシやコナジラミなど植物の汁を吸う害虫（吸汁性害虫）の排泄物を栄養にして繁殖します。一度ついたすす病は、これらの害虫が寄生している間は一年中見られますが、特に虫の繁殖期に当たる4～10月にはすす病の発生も多くなります。対処法として、すす病の出やすい植物ではスミチオン乳剤、オルトラン水和剤、アクテリック乳剤などの殺虫剤を適用作物に合わせて定期的に散布してこれらの害虫の発生を抑えることだそうです。

(\*) [http://shinagawa-eco.jp/mt\\_reporter/2013/07/post\\_414.html](http://shinagawa-eco.jp/mt_reporter/2013/07/post_414.html)

平成27年5月26日

小野文義（記者NO. 090107）

---

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年05月29日

## 意外に多かった石垣島、竹富島の漂着ゴミ

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年06月03日

---

沖縄県の石垣島と竹富島へ、貝の採取に行ってきた。約40年前に行った時の海はきれいに見えましたが、今回の旅行ではゴミが随分多いと感じました。

打上の貝を探す際には漂着物ラインを見ます。貝の打上もその部分に集中します。海岸でまず気が付いたのが大きなプラスチック類、漁具のゴミで、小さなゴミではプラスチックペレットがたくさん見られました。

昔、行った石垣島、竹富島ではこんなにゴミもなく、きれいな海岸だったはずと思いながら貝を探しました。幸いにも貝の種類や棲息する状況にはそれ程影響は無い様に見られましたが、とても残念な気がしました。この量は関東地方の海岸で見られるよりずっと多く、以前「海岸にこんなにゴミが」とお話しましたが、そんな状況ではなく、ひどいものでした。

通常の観光であれば遠くから海岸を眺めてきれいと思うかも知れませんが、観光もしないで貝を探して海岸ばかりを歩いている私には非常に残念でした。



2015.5.19川平湾の海岸

平成27年5月31日

青野良平（記者NO.070103）

---

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年06月03日

## マリーゴールドがきれいです

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年06月09日

---

今年もマリーゴールドのオレンジ色が真夏の太陽と競います。大崎中学の生徒さん40人が大崎駅西口と東口に分かれ植栽ボランティアに参加してくれました。芳水小サッカー部の児童も参加。水やりしているのは大崎中の生徒さんたちです。

植栽後にはきれいに清掃してくれています。

レモン色はさわやかですね。



近所で見つけた 桑の実です。桑は都会では珍しいです。



平成27年6月6日

環境記者 塚 純江（記者NO.100101）

---

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年06月09日



## 「エコライフ・フェア2015」に参加しました

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年06月15日

2015年6月6～7日に環境省主催「この美しい地球を守りたい」をテーマに「エコライフ・フェア2015」が開催されました。このイベントは毎年6月の環境月間のメインイベントとして、1990年以来、環境省、関係地方公共団体、関連法人、業界団体、企業及びNGOが連携し実施しています。

東京サラヤも環境活動の一環として環境に配慮した製品を一般のお客様にご紹介するために参加してきました。内容としては、品川区で先月行われた「しながわECOフェスティバル2015」の展示物とほぼ同じです。主催者側の報告によりますと、2日とも天候に恵まれたこともあり、116,028人と大勢の来場者があったようです。サラヤブースには700人以上の方が来られました。

まずは、サラヤ展示ブースの様子です。ブース右半分に未来型洗たくパウダー中心の展示、左半分にボルネオ緑の回廊プロジェクト中心の展示と、2つに分けてお客様にわかりやすい工夫をしてみました。



未来型洗たくパウダーがなぜ未来型かというと、パンやみそ、醤油などに使う酵母菌からつくる洗浄剤でつくった洗たくパウダーで、簡単に言うと食べ物でできている洗浄成分だからです。石鹼とか洗剤なんて語尾につけていません。新しい発想から生まれた環境に配慮したものです。第一日目6日（土）は写っていない自分を含め6人で参加しました。

お客様に環境配慮製品のクイズ用紙を渡してブース内パネルから回答を見つけていただきます。



小さなお子様には釣りゲームやボルネオ動物缶バッチづくりに参加してもらいました。



二日目の7日（日）は8名参加いたしました。今日も沢山のお客様が来てくれました。

来場者の皆さんにパネル内容を説明しています。次々とくるお客様に丁寧に説明をするスタッフの様子です。



7日の昼ごろ、望月環境大臣が見学にきてくださいました。全員で記念撮影をしました。



夕方5時まで忙しいイベントでした。  
会場の様子です。



エコライフ・フェア会場に来られているお客様の多くは環境意識の高い方が多く、サラヤブースに来られた方でも展示パネルを見ながらメモをとったり質問をされたりと、年々お客様の関心が環境に即した製品に興味を持ち、期待して来られる方が増えているように思います。

平成27年6月11日  
小野文義（記者NO. 090107）

---

**カテゴリ**：平成27年度

**投稿日**：2015年06月15日

## 『キャップ de ECO』可愛い子どもたちの歓声にさそわれて・・・

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年06月15日

爽やかな風が吹きわたり、心地よい5月のある日曜日の午後、品川シーサイドフォレスト オーバルガーデンを歩いていると‘Fun & Recycleキャップde ECO’と書いてある看板の下で、可愛い子どもたちやお父さん・お母さんが列を作り、遊んでいる姿が目にとまりました。



それは、ボードに大きさの違う穴が開けてあり、穴に入るとお菓子がもらえるといったゲームでした。子どもたちはお家からペットボトルのキャップを集め、参加していました。

何回もゲームに参加するにはたくさん集めなければなりません。

エコに協力し、ゲームを楽しみ、お菓子をもらったときの子どもたちの明るい笑顔がとても印象的でした。

### Fun & Recycle 『キャップ de ECO』とは

穴のあいたボードにペットボトルのキャップを投げるゲーム。  
ボードの穴は大小4種類あり、入った穴が小さいほど賞品が良くなる。  
キャップを持ってきた分だけチャレンジできるが、1回につき10投までで、そのうちの1番良い賞を1つプレゼント。再度プレーするには、改めて順番待ちの列に並んでもらう。  
オーバルガーデンでは、毎月恒例で行われており、毎回500人前後が参加する人気イベント。

「な～んだ 簡単！！」と書いていたら、お父さん・お母さん張り切って投げますが、なかなか入らず四苦八苦でした。

小さなキャップですが、投げると変化が起こるのでしょ～うか・・・？

穴に入ると本人はもちろんですが、見ている人たちからも拍手や歓声があがり、オーバルガーデンの青空に響き、あの小さなキャップが、大勢の人たちの心と心をつなぐ素晴らしいリサイクルの輪のなかに私も参加することができました。



### 『ゴミ』として捨てられるだけのペットボトルのキャップ

10年ほど前から回収して環境や貧困に役立てようという活動はありましたが、集めても達成感や楽しみがみえず、徐々に熱が冷めているように見受けられます。

回収活動に楽しみを加え、それを継続的に行っていけば、少しでも社会貢献になるうえ、地域のコミュニティづくりにも寄与できるのではないだろうか。そんな発想から‘キャップde ECO’は誕生しました。

品川シーサイドフォレスト オーバルガーデンでこれまで回収したキャップを積み上げたとなると、すでにスカイツリーの高さ以上になっています。この高さの分だけ、子どもたちの笑顔と達成感があるのです。これからもゴミにせず、楽しみながら回収してリサイクルを今後も継続し、‘キャップde ECO’を開催していく予定だと、企画・製

作・運営をされている株式会社ウエルウエスト様から心温まるお話をうかがうことができました。

循環型社会の実現をめざし、'Reduce'・'Reuse'・'Recycle'に心がけ、綺麗な地球環境をみんなで守って行きたいと思います。

平成27年6月12日

環境記者 石田雅子 (NO.120102)

---

**カテゴリ** : 平成27年度

**投稿日** : 2015年06月15日

## 花壇のヤマボウシ、実がなっています

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年06月15日

東京サラヤ本社（旧海岸通り沿い側の新東海橋交差点の一角にある会社）の花壇には、ヤマボウシの木が植わっています。

2015年6月9日（火） 12:30 撮影



初夏に下のような白い花が咲きました。（じつは総苞と呼ばれる部分で花ではありませんが。）



白い花も散ったあと緑色の実がたくさんついていました。



この実を調べましたら食べられるとのこと。下の写真のように熟すると赤くなります。



山の実としては甘い方とのことです。実の外側のごつごつとした皮は剥いて、中の濃い黄色の部分を食べます。種が多く食べられる部分は少ないですが、アケビのような、バナナのような南国系の味がするとのこと。凍らしてスプーンで掬って食べたり、実のごつごつした部分をとり砂糖で煮詰めてジャムにしたり（実と砂糖の割合3対2）できます。今はまだ実は青いですが熟したら食べてみようと思います。（※生で食べられます。）

平成27年6月9日  
小野文義（記者NO. 090107）

---

**カテゴリ**：平成27年度

**投稿日**：2015年06月15日

## 第27回環境記者情報交換会

カテゴリ：◆情報交換会

投稿日：2015年06月19日

平成27年6月11日(木)、第27回環境記者情報交換会が開催されました。



第1部では、インタメディア代表の佐山吉孝さんから「路地」というテーマでお話を伺いました。住商混在の神楽坂の路地などが取り上げられました。

2部は、環境記者の皆さんの活動報告です。

### 【志賀さん】

平塚二丁目町会の「花と緑の部」でポプリ作りの講習会をしました。自分で育てて咲かせた美しい花を使ってポプリを作り、毎日部屋で眺めながら香りを長く楽しむことができます。戸越銀座商店街では、高齢者から座るところがほしいという要望が出たので、山梨県早川町の間伐材で長椅子を作り設置しました。早川町は品川区と「ふるさと交流協定」を結び、活発な交流を続けています。

### 【新居崎さん】

福島県南相馬市の植樹祭に行ってきました。「瓦礫を生かす森の長城プロジェクト」を設立し古来の常緑樹が海岸線を守るとのご意見の宮脇昭先生を取材させていただき共感しました。また、福島県の「再生可能エネルギー研究所」と「会津電力」を取材し、ドイツにおける脱原発の実践を検証し、「再生可能エネルギー、社会建設は可能か」という記事をまとめ、「行政書士とうきょう」に掲載しました。

### 【小野さん】

6月6日、7日に環境省主催で「この美しい地球を守りたい」をテーマに「エコライフ・フェア2015」が開催されました。東京サラヤも参加し、未来型洗たくパウダーやボルネオ緑の回廊プロジェクトなどを紹介しました。エコライフ・フェア会場に来られる方の多くは環境意識が高く、質問をして熱心にご覧になっていました。

### 【高塚さん】

今年も大崎駅西口と東口に分かれマリーゴールドの植栽を行いました。大崎中学の生徒さん40人や芳水小サッカー一部の児童などがボランティアとして参加してくれました。地域で子どもと関わって共同作業ができて毎年よい経験をしています。11月にはノースポールに植え替える予定です。

### 【青野さん】

沖縄県の石垣島と竹富島へ、貝の採取に行ってきました。約40年前に行った時の海はきれいに見えましたが、今回の旅行ではゴミが随分多いなと感じました。幸いにも貝の種類や棲息する状況にはそれ程影響は無い様に見られましたが、とても残念な気がしました。

### 【西川さん】

品川区と提携している早川町に関わって15年になります。品川区は早川町から「丸山」を無償で借り受けて「マウントしながわ」と呼んで、自然と親しむ活動の場、自由に使える里山として利用しています。ここ4~5年は早川町に行くと「マウントしながわ」に行つて、山の手入れをしています。早川町に品川区民がもっと足を運ぶようになればよいと思います。

記者の皆さんの日頃の活動の様子や興味を持っていらっしゃる事柄についてご報告いただきました。佐山さんからは、多方面の発言を聞いて興味深かった、自分を取り巻く環境で知らない間にことが進んでいることがあるので、一人一人が発言していくことが大事だとのお言葉をいただきました。志賀さんが町会の講習会で作ったポプリを持って来てくださり、ほのかな香りのアロマ効果を楽しみました。和気藹々とした雰囲気の中、今回も実りある情報交換会になりました。

---

カテゴリ：◆情報交換会

投稿日：2015年06月19日



## 「花交差点の仲間たち」 6月の植栽

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年06月23日

日時：平成26年6月14日（日）9：00～10：00

参加者：63名

南大井2丁目（大森海岸駅前～しながわ水族館入口）歩道花壇の植替えを行いました。

気がかりだった雨も本降りにならず、花壇には良い湿り気、一週間前に行った地拵えで花壇の土もふかふか、植え替え作業が楽にできました。レイアウトなどの事前の準備と手際よい作業、手の足りないマンションへの応援、7棟全マンション40分あまりで無事終わることができました。夏から秋まで楽しめる可愛い花たちの大森海岸花ロードとなりました。

### ◆植栽前の地拵え6月7日(日) 参加者:43名



### ◆植栽日6月14日(日)



### ←国交省の方が8時ごろ花苗数チェック

国道沿いの歩道は国交省の管轄、  
国交省の支援 VSP(ボランティアサポートプログラム)と協定を結び、歩道の環境整備活動をしています。



これから暑い日がやってきます。水やりなど日々の手入れがたいへんになりますが、熱中症に注意し頑張ります！

成27年6月22日

真壁美枝子（記者NO.080103）

**カテゴリ:** 平成27年度

**投稿日:** 2015年06月23日

## しながわ区民公園の朝

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年08月12日

しながわ区民公園は6時に開園！（開園時間：午前 6時～午後8時30分）

6時前から開門を待つ人たちがいます。

平日のためか熟年世代が多く、皆さん健康維持のためのウォーキング！  
猛暑日が続くこの時季公園内はひんやり、外気温より2、3℃は低いので、  
避暑を兼ねての公園散策散歩はいかがでしょうか。



開門を待つ人たちが一斉に公園内へ



噴水広場（現在工事中で噴水はありません）で自発的に集まった方が  
ラジオ体操を行っています。悪天候以外年中無休で音楽を流すボランティアを  
19年間続けている方がおりました。

この日は120名ぐらいが参加、週末はもっと大勢集まるようです。

毎日参加することで、体操の前後のあいさつで健康と地域のよいコミュニケーション  
の場になっているようです。

平成27年8月11日

真壁美枝子（記者NO.080103）

---

**カテゴリ**：平成27年度

**投稿日**：2015年08月12日

## 天王洲で見た鳥

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年06月24日

6月16日（火）朝8：10、天王洲橋からインターシティ方向の風景です。薄曇りで川の色は真っ黒、きれいとは言えない景色の中、丸い点線で囲ったところに餌をもとめて2羽の鳥がいましたので写真を撮りました。

まず、写真奥の丸い点線で囲ったところに白鷺（シラサギ）が？ この鳥はよく見かけます。・・・ちょっと待てよ！正面から見ると真っ白だったのでシラサギと思いましたが、背中が灰色で頭部にもうっすらと黒っぽい線があります。自分は初めて見ましたので調べました。これアオサギです。この辺に多くいるのかわかりませんが。



アオサギは成鳥では首が白く、頭に黒い冠羽があるが、若い鳥では首や冠羽の部分がぼやっとした感じで、立ったまま翼を半開きにして日光浴をすることです。

コウノトリ目サギ科

- カラス大以上が多い（ヨシゴイなどはハト大）。
- 首や足が長い（首を縮めているものもいる）。
- 長めの鋭いくちばしで、魚などをとる。
- 飛ぶと首を縮める（×コウノトリ・トキ科、ツル科）。 （出典「'BIRD FAN'アオサギ」より）

つぎに、手前の丸い点線には胸からお腹にかけてオレンジ色で翼や頭がブルーのカワセミが居ました。10年以上この橋を渡って通勤していますが、初めて見ました。



画像：ウィキペディアより

夕方、よくこの川で魚が何度も跳ねるのを見ます。きっと餌が豊富なのでしょうね。どうぞ、たくさん食べてください。

平成27年6月19日

小野文義（記者NO. 090107）

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年06月24日

## 緑のカーテン、その後

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年06月26日

---

50 ほど伸びたところで、高さ2メートルのネットを張り、3週間で1メートル以上生長、種まきから2ヶ月目に待望の花芽が開花しました。



(6月19日撮影)

花芽はたくさんありますが、ぼろぼろすぐ散ってしまう雄花ばかり、雌花には根元にミニゴーヤの形があるというのですが、いまのところ見つかりません。それでも緑の壁になりつつあります。



(6月25日撮影)

平成27年6月26日

真壁美枝子（記者NO.080103）

真壁さんの先月の記事『「緑のカーテン作り」に再チャレンジ!』をご参照ください。

[http://shinagawa-eco.jp/mt\\_reporter/2015/05/post\\_523.html](http://shinagawa-eco.jp/mt_reporter/2015/05/post_523.html)

---

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年06月26日

## ヤマボウシの実を食べてみました

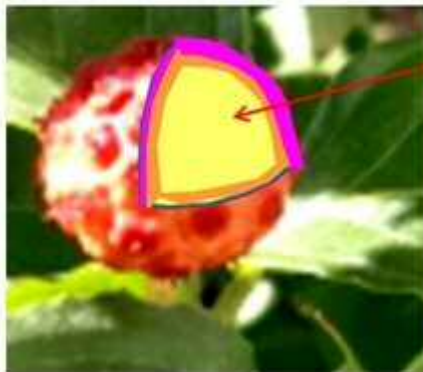
カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年07月16日

先月投稿いたしました会社花壇（東京サラヤ東側（旧海岸通り側）花壇）のヤマボウシの実、覚えていますでしょうか。

オレンジ色になった実が1個だけありましたので食べてみました。

他の実は現在、下のようにまだ緑色で熟していません。



薄い黄色です。  
食べた感触はつぶつぶ感があり、硬くはありません。  
ナシの感触に似ています。  
味はほんのり甘くおいしいです。  
香りはあまりありません。  
ジャムのようにして濃縮すると香るかも。

感想  
おいしい実でした。

実の大きさは直径1.5cmくらい。

実の皮が軟らかいのでこのままだと虫や野鳥に食べられてしまうと思います。  
生物多様性・・・仕方ないことですが。

平成27年7月15日

小野文義（記者NO. 090107）

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年07月16日



## 京浜運河でイボニシが産卵

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年09月01日

---

運河の中でイボニシが産卵していました。

以前、船の船底塗料の影響でメスのオス化で産卵出来なくなってしまうと騒がれて、新聞などで報道された貝です。



イボニシ（2匹）と卵です。2015年8月2日撮影

中央左の黄色い細長い塊が卵（赤の楕円の中）

親（イボニシ）は卵の右に2個体います（緑の楕円の中）

最近になってから運河の中でも少し見られる様になりました。

肉食性の貝ですが、卵の割には成貝になるのは非常に少ない貝です。

運河の中で一生懸命生きている品川区の「住民」です。

平成27年8月23日

青野良平（記者NO.070103）

---

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年09月01日

## フン害！

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年09月25日

直ぐに思い当たるのは、鳩のフン！ 犬のフン！

フン害に憤慨している方も多いことと思います。

地域の環境整備を行っている「花交差点の仲間たち」ボランティアも、常に悩まされることです。

### ◆ハトフン

ハトの落とし物のフンは、見た目も汚いですが、乾燥して粉塵となり健康上悪影響を与えるので、注意が必要とされています。

近くのしながわ区民公園では「ハトにエサを与えないでください」などの看板がありますが、ペットのように毎日エサを与えている人がいます。

ボランティアが管理している、歩道花壇の街路樹下にもエサを置いて行く方が・・・。

解決策が、なかなか見つかりません。



### ◆犬フン

私たちは歩道花壇の手入れをしています。

フンや尿をわざわざ花壇の中でさせるひどい飼い主がいます。犬が悪い訳ではありません！

目にした時は声をかけたりしますが、逆切れされ不快な経験をしたこともあります。

基本は複数で活動しているときに声かけするようにしています。

フンを取る袋や尿を処理するペットボトルなどを持参しているようですが、ポーズのみの飼い主もおり、人が見ていないときはそのまま置き去りです。後処理がたいへん・・・！

注意喚起の看板を立てているのですが、本数がたりないのでしょうか？



9月20日～26日は動物愛護週間、ルールを守り皆で気持ち良い環境にしたいです。

平成27年9月23日

真壁美枝子（記者NO.080103）

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年09月25日

## 緑のカーテン、今年もありがとう♡

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年09月29日

シルバーウィークにベランダ栽培のゴーヤのカーテンを取り外しました。

無農薬栽培のゴーヤの苗を花屋の店頭で見つけたのが、五月のゴールデンウィーク。無農薬で育った苗ならば、無農薬・無肥料栽培に挑戦してみようと鉢購入して野菜用プランタに植えました。

初めは温暖な気候の助けで順調に育っていたのですが、50cm以上に背を伸ばし始めた頃から例年のような勢いがなくなり、心配していました。結果は、九月のシルバーウィークまでやわらかな光を部屋へ届けてくれるくらいに葉が繁り、蔓もしっかり伸びてくれました。



一方、ゴーヤといえばお駄賃のような実も楽しみのひとつ。

全部で5個は、ちょっと寂しい収穫でした。味の方はといえば、8cmくらいのチビでぶ君たちは蔓の下で黄色に色づき真っ赤な種とともにほじける頃に収穫したものは苦味も少なく、チャンプルにかき揚げにおひたしにと我が家の食卓を大いに楽しませてくれました。



水遣りと葉の整理だけという手間なし無農薬・無肥料栽培体験でしたが、緑のカーテンは十分合格。実の収穫もまたそれなりに美味しくいただけたことを考えると、総合点では大満足の今年の緑のカーテン作りでした。

ゴーヤさん、今年も涼しさと美味しさをありがとうございました♡

平成27年9月29日

小滝静子（記者NO.140101）

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年09月29日



## 106種類目の貝、ヒバリガイ

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年10月07日

---

今年の運河は夏の水質もそんなに悪くなく、何回かの大雨の後のアサリの大量打上もなく穏やかに通過したようです。

水も40年前から比べれば今は信じられない位きれいになっています。

10月2日に見つけたヒバリガイを加えて品川区の京浜運河の中で記録した貝106種類になりました。新たに記録された種としては約1年ぶりの追加です。運河の外でも新たな種類が見つかって記録されています、もっと水がきれいになり、大雨時の汚れ等がなくなれば記録される種類が伸びて行くものと思っています。



左端、新たに記録されたヒバリガイ、  
良く似た貝との比較でコウロエンカワヒバリガイ（中央）  
ホトトギスガイ（右端）

平成27年10月6日

青野良平（記者NO.070103）

---

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年10月07日

## ナミアゲハの観察

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年10月13日

本社花壇の柑橘系の木々も実が大きくなりました。そんな中でアゲハ蝶の幼虫も大きく育っています。9月に入り曇りや雨の日が多くアゲハ蝶の幼虫をしばらく見る事ができなかったのですが、先日の爆弾低気圧にも耐えて大きく育っているナミアゲハの幼虫がいました。



撮影：平成27年10月5日

小野文義（記者NO. 090107）

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年10月13日

## 大井埠頭中央海浜公園でウラギンシジミ発見！

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年10月13日

何度か環境記者として投稿している大井埠頭中央海浜公園にまた行ってきました。  
なぎさの森管理事務所（↓）で公園の説明をしていただき、自然観察を開始！



◆観察開始早々、なぎさの森・彫刻広場でカナヘビを観察。7～8cmくらいのがあちこちにいました。



カナヘビ



ヤマトシジミ

◆クサギ（臭木）＜クマツヅラ科＞ 撮影：なぎさの森 干潟保全地区  
産地：北海道、本州、四国、九州、沖縄 落葉中高木



果実は10月に成熟、核果で、球形、光沢ある碧色、後に紫碧色となる、径6～7◆。

◆ウラギンシジミを観察。撮影：なぎさの森 バーベキュー開放区（新平和橋より）  
最初見たとき、過去に見たことない綺麗な蝶でしたので、これは何かあると思いシャッターをきりました。後で調べましたら大変貴重な蝶で、シジミチョウの仲間。普段見るシジミチョウより一回り大きく、見る事ができてとてもラッキーでした。写真に収められなかったのですが、翅の表は濃いオレンジ色でした。

※典型的な暖地性のチョウで、日本では本州以南に分布。海外ではヒマラヤ地域から中国にかけて分布する。山麓や盆地、郊外の住宅地などで普通に見られる。宮城県のリッドリストで、要注目種の指定を受けている。リッドリストとは、国際自然保護連合（IUCN）が作成した絶滅のおそれのある野生生物のリスト。正式には The IUCN Red List of Threatened Species という。2015年5月現在で、最新のバージョンは2014年版。また、日本では環境省が作成した「絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト」も、リッドリストと呼ばれる。

（※参考：ウィキペディアより）



◆クダマキモドキ<バッタ目、ツユムシ科> 撮影：なぎさの森

クダマキモドキは木の上から枯れ葉が落ちるように飛んできました。クツワムシに似ていますが別物で綺麗な黄緑をしていました。

4~5cmで全身がきれいな緑色をしており、キリギリスの仲間。翅は写真に見るように葉の形に似ており、木の上に棲んでいてよく飛びます。植物の葉を食べます。



以上、秋の観察終了！。

撮影：平成27年10月6日

小野文義（記者NO. 090107）

---

**カテゴリ**：平成27年度

**投稿日**：2015年10月13日



## 「E C O保育園」のご紹介

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年10月13日

大崎ひまわり保育園（大崎駅北口徒歩5分）は、社会福祉法人の理念の一つ「自然に学ぶ」を実現するため、「屋上40◆（園庭）緑化」を取り入れた「E C O保育園」として建設致しました。



屋上全景



畑土づくり



畝づくり

E C Oの内容は、◆雨水利用タンク設備の導入、◆E C Oプランター {底に雨水保水槽（コーヒー殻樹脂材焼却時CO2発生削減）} の設置、◆咲き終わった草花と固くなった土の再利用（全て土壌に混ぜて土壌再生し、再利用する）で、「循環型E C O」を目指しています。種～苗～収穫～土壌に還元～肥えた土壌に変身させることにより廃却ゴミを発生させません。また生ゴミ乾燥器の導入で、土壌に還元しています。

初年度の今年、植栽検討・土壌作りを経て「さつま芋」と「ミニトマト」作りに挑戦し、10月29日、園児達が芋掘りを体験し、収穫したさつま芋を食べて、残りを家に持ち帰って家族で料理し食べる計画を立てました。

収穫前のさつまいもの茎は、園児達が、首飾りを作って楽しみました。さつまいも畑は腐葉土と黒土に混ぜて肥料として活用し、廃脚ゴミ「0」で完成しています。6月下旬に苗を植えて、10月末収穫予定です。収穫量や収穫の様子については、次回にご報告致します。

「さつま芋」の調理と試食

「さつま芋」は、根・芋・茎（紫色）・葉柄（ようへい）・葉の部分に分けられます。葉柄部分は、フキのように外皮を剥いてから茹でて食べました。茹でた茎は◆サラダに和える。◆醤油と鰹節で煮る。◆ごま油と塩で混ぜてマリネにする…3種類の調理法を教えてください、砂糖を使わない新鮮な野菜として食べ好評でした。



ミニトマト



収穫前10月7日状況



平成27年10月8日

志賀 勝（記者NO.060110）

<社会福祉法人 戸越ひまわり福祉会 理事長>

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年10月13日

## 〇美術館「大崎今昔展」一蝶の標本

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年10月20日

10月10日から12日まで〇美術館で「大崎今昔展」が開催され、蝶の標本十数点が展示されました。西品川3丁目の故田中茂さんのご遺族よりお借りしたものです。展示品をご紹介します。

ツマグロヒョウモン

大崎地区でもたくさん飛んでいます。パンジー・ビオラなどスミレを食草とします。



アサギマダラ

長距離移動することで知られています。海をも越えて中国までも渡ります。羽根に標識をつけるので、どこからきたのかが判るのです。新聞で記事を見たときは羽根はボロボロでした。



ギフチョウ

生息地、長野の里山の開発により、個体数が減少しています。



平成27年6月6日

環境記者 塚 純江（記者NO.100101）

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年10月20日



## 第28回環境記者情報交換会

カテゴリ：◆情報交換会

投稿日：2015年10月27日

平成27年10月19日(月)、第28回環境記者情報交換会が開催されました。

●第1部では、まちづくりコーディネータの佐山吉孝さんから「過疎のまちづくり～神流川流域のまち、かんなの事例から～」というテーマでお話を伺いました。

かんな（正式な呼称ではない）は高崎から南へ25km、長瀬から北へ12km、関東平野の西のはずれの群馬と埼玉の両県にまたがるエリアで、典型的な過疎の地区である。

この地区では、過疎の特性を活かす→過疎には都会にはない資産がある→この過疎の資産を宝に変えられないか？という観点から、アートレジデンシーを中心にしたまちづくりが進んでいる。

アートレジデンシーとは、ある地域が国内外のアーティストに呼びかけて1ヶ月から3ヶ月間程度、その地域に滞在させながら創作活動に取り組んでもらう、交流型のアートビジネスだ。

この活動の結果、かんなでは今年20カ国から40人の参加者があった。

(1)アートレジデンシーの参加者が確実に増え、地域に様々な経済効果をもたらしている。

(2)若い夫婦が3組、移住してきた。

(3)行政も注目し、様々な支援を提供してくれるようになった。

(4)民間の財団からも2年連続の支援があった。

(5)地域の理解が進み、協力者が増えている。

このようにアートレジデンシーによって、まちづくりは着実に進んでいる、とのお話でした。



●第2部は、環境記者の皆さんの活動報告です。

【真壁さん】

・「花交差点の仲間たち」が国道一号線沿いの花壇で、年2回の植栽（約70名参加）と毎月の手入れ（約50名参加）をしています。今年で13年目になります。

・今夏、しながわ区民公園で朝のラジオ体操に多くの方が参加していました。公園内の気温は周囲の住宅地より多少低く、早朝は爽やかです。健康のために、また地域のコミュニケーションの場にもなっているようでした。

・「フン害！」について

マンションの住人でハトにエサを与える人がいます。階下の人はハトのフンで迷惑を被っています。犬のフンの処理ではマナーを守る人とそうでない人がいますが、マナーを守って気持ちの良い環境にしたいですね。

【高塚さん】

・O美術館で「大崎今昔物語」が開催されており、数十点の蝶の標本が展示されていました。

作者のご遺族の方が、これらを展示する場所を探しておられました。

・カラスにエサを与える人がいて、フンを落とされることがあるので、電線の下を歩く場合は要注意です。

・今年はやや少ないのですが、わが家の庭にススメバチがいて、威嚇してきて怖いです。

・今頃、西洋アサガオが狂ったように咲いています。

・11月には恒例になっている大崎駅前の花壇の手入れを行います。

【小滝さん】

今年も緑のカーテンを作りました。無農薬栽培のゴーヤの苗を購入したので、無農薬・無肥料栽培に挑戦しました。結構涼しくなります。



【小野さん】

- ・会社の花壇に植えているヤマボウシに実がなりました。熟すると赤くなり、食べられます。ほんのり甘くておいしいです。
- ・通勤途中で天王洲橋を渡っているとき、カワセミを見つけました。10年以上この橋を渡って通勤していますが、初めてです。
- ・大井埠頭中央海浜公園でウラギンシジミを発見しました。大変貴重な蝶なのだそうで、ラッキーでした。観察早々カナヘビを発見、またきれいな緑色をしたクダマキモドキ（バッタの仲間）が木の上から枯れ葉が落ちるようにして飛んできました。

【辻本さん】

デジタル地球儀「触れる地球」についての紹介です。

電気式の地球儀で、PC処理を行い、雲画像、過去の気象記録、温暖化、地震の発生場所等々、本で読むより視覚的に見ることにより理解が深まるというものです。動画で雲の動きや海水温の変化を見ることがもできます。

【都甲さん】

10月25日、東京湾「海の森」で開催される「秋の植樹まつり」に会社の仲間10名ほどで参加する予定です。私の所属する会社では、環境貢献活動の一環として参加しているのですが、残念ながら植樹の一般応募は今年で最後だそうです。今回は去年植えたものがどれくらい生長しているか見てきたいと思っています。

【新居崎さん】

畠山重篤氏の「森は海の恋人」活動の紹介です。

「海をきれいにするためには川をきれいにならなければならない、また川をきれいにするためには森を作らなければならない」という運動を続けている人です。気仙沼のカキ漁師さんで、森をきれいにする事の大切さを訴え、自然を守ることが人間とどう関係にあるのかを研究しています。

今日では、この人の活動がどんどん広がっています。



記者の皆さんの日頃の活動の様子や興味を持っていらっしゃる事柄についてご報告いただきました。

---

カテゴリ：◆情報交換会

投稿日：2015年10月27日

## 南大井2丁目歩道花壇

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年10月29日

大森海岸駅より区民公園に向かう歩道花壇は11月15日に冬花に植替えられますが、涼しくなり元気を取り戻した一部の花は今が盛りです。水族館入口までの花々を紹介します。



ペンタスは暑さに強い花です。  
色は赤、白、ピンク濃淡など



ルコウ草は来月中頃ごろまで  
楽しませてくれます。  
プラタナスに巻き付いた小さな  
赤い花、クリスマスツリーのよう  
です。

水族館入口脇の工事現場の囲いには水族館への誘導P R



しながわ水族館入口のモニュメントの右側には、  
「ジニア・リネアリス（細葉百日草）」が訪れた人を迎えてくれます。

可愛らしい花なので、来季の花苗候補にしたいと考えていますが、  
歩道の環境に合うか心配しているところです。

平成27年10月25日

真壁美枝子（記者NO.080103）

---

**カテゴリ**：平成27年度

**投稿日**：2015年10月29日

## 「花交差点の仲間たち」植栽

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年11月27日

日時：平成27年11月15日（日）9：00～10：00

前日からの雨が降り止まず、各マンションリーダーと植替え時間を変更するか話し合い、予定通り行う事にしました。

9時頃には小降りになり無事スタート。雨天でしたが7棟のボランティア58名の参加がありました。

集合前のレイアウト決めや人数の少ないマンションへの応援で、早い時間で終わることができました。

花苗はシクラメン、デージー、ノースポール、パンジー、マーガレットを植えました。風景が一変、こころも弾み春がやってきたような華やいだ花壇に変身しました。

来春5月まで花を楽しむためにも、日常の管理（枯れた花摘み、水やり、雑草駆除）を継続することが大事です。

◆植栽前の地拵えを行い、一週間後の植替えを待ちます。

11月7日（土）9時～10時 参加者：47名



◆植替え 11月15日（日）参加者：58名

花苗5種類です。

マーガレット、パンジー、シクラメン、デージー、ノースポール





南大井2丁目7棟のマンション前歩道花壇の植替えです。



植替え後の花壇です。同じ花苗でもレイアウトでかなりちがいますね。  
ボランティアは自分のマンション前が一番きれい・・・と！



平成27年11月24日

真壁美枝子（記者NO.080103）

---

**カテゴリ**：平成27年度

**投稿日**：2015年11月27日

## みどりと花のボランティア活動

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2015年12月22日

12月17日（木）の午後、聖蹟公園の花壇の花植え替えと清掃を行いました。この活動は私が所属する会社（東京セラヤ◆）とその関係者から有志を募り、品川区の「みどりと花のボランティア活動」に参加しているボランティア活動です。年2回から3回、季節の花を植え替えています。ボランティアの活動名は「品川フラワーレンジャー」で区に登録しています。

今回は5名で行いました。

植替え開始前に花壇周辺と公園入口の清掃と公園の様子



花を植える前に、シャベルで花壇の土を十分におこしてやわらかくします。



花の大きさや色の配置を考えながら、約1時間かけて植えました。けっこう腰も痛くなり意外と大変でした。



無事完成です。



平成27年12月18日  
小野文義（記者NO. 090107）

---

**カテゴリ**：平成27年度

**投稿日**：2015年12月22日

## 年末年始の品川散歩

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2016年01月20日

昨年末、都立大井ふ頭緑道公園を散歩して来ました。この公園は八潮パークタウンの東に広がる緑道公園で、1977年1月に開園し、今年開園40年目を迎えます。



八潮パークタウンと高速道路・東京貨物ターミナルの間にあり、都会の真ん中とは思えない森の雰囲気が漂っています。遊歩道があり、その道沿いにはたくさんの木や草花などが見られ、園内には池もあり自然観察もできます。以前から時々この周辺を散歩しており、すぐ横を高速道路が通っているため、木々が枯れてしまわないかと心配していましたが、元気です。



元旦、八潮団地12階から富士山を撮った写真です。今年の元旦はよく晴れて気温が高く、12時頃でもきれいな富士山を見ることができました。半世紀前の高度成長期では見ることができなかったであろう景色です。空気がきれいになっているのですね。



平成28年1月18日  
関根輝彦（記者NO.140102）

---

**カテゴリ** : 平成27年度

**投稿日** : 2016年01月20日

## あなたの地域の地域危険度ランクを知っていますか？

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2016年02月02日

立春を目前にして今晚から三度目の雪が品川にも降るそうです。今冬の強烈な寒気は九州一円に断水という被害を残して行きました。

『広報しながわ』平成28年1月1日号は、濱野区長と歌舞伎俳優・片岡仁左衛門さんの新春対談でした。記事の中に、「昨年秋の集中豪雨では、一部の地域で避難勧告を出した」という一文がありました。（下記URLをご参照ください。）

<http://www.city.shinagawa.tokyo.jp/ct/other000066900/kouhou20160101-1.pdf>

そういえば、当時ラジオで品川区に避難勧告が発令されたと聞いたときには、てっきり目黒川周辺域だろうと思いきや、ところがWEBで調べてみると「上大崎・北品川」の一部地域。集中豪雨による土砂災害危険箇所が対象だったのです。（下記URLをご参照ください。）

<http://www.city.shinagawa.tokyo.jp/hp/menu000023100/hpg000023087.htm>

《もし、お年寄りやお身体等に不自由なところをお持ちのみなさんと自分が一緒にいる時に災害が起きたとしたら、どうしたらよいのだろうか？》

そんな疑問のひとつの答えを昨年6月に品川区防災課主催の「防災アドバイザー研修」に参加することで得られました。例年は町会や自治会の推薦者への研修だったようですが、昨年は一般公募も受け付けてくださいました。研修といっても講義ばかりではなく、実際にチームを組んで我が街の防災状況を点検するという実習つき。車椅子の乗り心地や目線まで経験しました。

普段は見過ごしている町の防災設備、いざというときには必要となるものや場所、について私たちひとりひとりが確認しておくことの重要性について気付かせてくれました。

『広報しながわ』新春対談と1月17日に21年目を迎えた阪神・淡路大震災、そして3月11日に5年目を迎えるようとしている東日本大震災を目前にして、気持ちを新たにする一日となりました。

さて、表題の問いに対する答えですが、東京都震災対策条例に基づく品川区の地域危険度ランクについては品川区より昨年配布された防災地図で是非、確認してみましよう。（写真真ん中の緑色の地図です。）



平成28年1月29日

小滝静子（記者NO.140101）

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2016年02月02日

## 海の中の温暖化(貝から見た温暖化)

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2016年02月12日

---

最近、関東地方の海の中の貝の生息状況にここ2,3年で変化が見られ始めてちょっと気になっています。

陸上の生き物については変化が見られて来ているとの話はよく聞きますが、海の中でも最近では亜熱帯性の貝が見られる、または以前は幼貝のみ見られていた貝が成貝（大人の貝）まで成長しているのが見られています。京浜運河の中ではまだ感じられないのですが、真鶴半島、三浦半島、房総半島では変化が見られています。

写真の貝はマガキガイですが、暖かい海では個体数も多く見られごく普通の貝ですが、関東地方では以前は幼貝のみが僅かに見られていました。現在は見られる幼貝の個体数も多くなって来ていて、ここ数年で大人になっている個体も見られる様になって来ました。その他にもナツメモドキ(タカラガイの類)やトミガイ、チイロメンガイ他、以前は紀伊半島以南の貝として地域分けされていた貝が出現しています。



マガキガイ 成長順 右端が成貝(奄美大島産個体)

また、奄美大島に行っても最近の2,3年で、以前沖縄でやっと見つけた貝が何種類も見つかるようになりました、こちらでも変化を感じています。

平成28年2月10日

青野良平（記者NO.070103）

---

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2016年02月12日



## 立会道路（緑道）

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2016年02月17日

2月9日は気温15℃、陽気に誘われ南大井2丁目から東大井5丁目へ立会道路緑道を通り大井町駅まで約2kmの散策です。

時たま通る緑道ですが、見慣れた景色もレンズを通した印象は、いつもと違うおしゃれな小路に見えます。



品川区道路愛称名より

<http://www.city.shinagawa.tokyo.jp/hp/page000022800/hpg000022720.htm>

立会道路（延長 4760m）

【立会道路は、立会川に蓋を掛け下水道として整備されていた川の上に道路や花と緑の親しめる緑道が整備された。立会川の名称をとって立会道路と呼ばれている。】

立会道路は 4760m とありますが、大井町までの緑道は 600m 程度になります。緑道は、春の到来を告げる可憐な花（梅、木瓜、沈丁花）が主でした。



民家の庭先「白梅紅梅」



春を告げる花の一つ「沈丁花」



ボケ（木瓜）の花



メジロが数羽大好物の花蜜をついばんでいました。



「金のなる木」和名：緑紅弁慶 見事に花を咲かせています。(南大井 5 丁目)  
マンション事務所の方が、「写真を撮られる方が多いです」と自慢げに・・。



エファ-の花が散らずにドライフラワーになっていました。

平成28年 2 月 9 日

真壁美枝子 (記者NO.080103)

---

**カテゴリ** : 平成27年度

**投稿日** : 2016年02月17日

## 「花いっぱい運動」の今

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2016年02月19日

品川区協働事業として提案し採用となり、助成を受けて取り組んだ「花いっぱい運動」の町会会館屋上緑化は、今年で7年目に入りました。鳥取県開発の常緑キリンソウは7年を経過した現在も、遅くなった株から今なお芽が出て、毎年黄緑一面の屋上になっています。

町会会館のお稲荷さん脇の常緑キリンソウは現在、下の写真の状態となっており、お参りをする人の目を楽しませてくれています。

(左下写真) 熟成土追加後の常緑キリンソウのマット(1袋寸法：約50cmx50cmx15cm)を屋上に36袋設置しています。このマットが、年間を通して町会会館の屋上を緑化してくれています。

(右下写真) 2月の常緑キリンソウと星薬科大学の大銀杏の盆栽



常緑キリンソウへの土入れ作業と京陽公園での熟成土作りは大切です。

(左下写真) 土壌作り現場の普段の姿

(中下写真) 熟成土再生作業

(右下写真) 木枠手前は熟成中、奥枠は固くなった植木鉢土と生ごみ乾燥の粉攪拌場



この活動を支えている‘平ニファーマーズ・クラブ’のメンバーは、男7人・女2人です。

他の活動としては、星薬科大学のご好意により構内で銀杏拾いをさせていただき、町会会館前で銀杏の皮むきや天日干しをしながら、立ち寄った人に銀杏を配布したり、電子レンジで過熱して食べながら町会会館で談笑したりしています。暖かくなると、八潮へハゼ釣りに行き、持ち帰って素揚げにしたり、隣近所におすそ分けをしたりします。また子どもたちにザリガニ釣りを体験させるなどもクラブの年中行事として定着しています。また、イベントの時に自主的に参加してくれる方が増え、作業だけではなく地元の温泉で疲れを癒しています。

(左下写真) 昨年秋の星薬科大学銀杏

(右下写真) 星薬科大学の果肉ついたままの銀杏を、熟成土壌に埋めて4ヶ月後掘り出してむいた銀杏



平成27年2月19日

志賀 勝（記者NO.060110）

---

**カテゴリ:** 平成27年度

**投稿日:** 2016年02月19日

# 電力小売全面自由化（1）

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2016年02月22日

私の最後のレポート「エコロジア第一太陽光発電所 稼働開始」から1年以上ご無沙汰しました。その後、引き続き2015年4月に第二太陽光発電所（千葉県木更津市）を作ったり、いろいろ忙しくしていました。

タイトルにある今年4月からの「電力小売全面自由化」への対応も忙しかったことのひとつです。

さて、本題の「電力小売全面自由化」という言葉は、新聞雑誌、テレビで毎日のように報道され、特集も組まれたりしているので、もう全く知らない方はいらっしやらないと思います。

でも、まだいまいち良く分からないという方は、ここで説明するのは長くなりますので、

[資源エネルギー庁の「電力小売全面自由化」](#)や、[電力比較サイト「エネチェンジ」のホームページ](#)に解説がまとまっていますのでご参照ください。

分かりやすくいえば、私たち品川区民の一般家庭はこれまで東京電力からしか電気が買えませんでした。4月からは東電以外の会社（政府に登録された小売電気事業者）からも電気を買える制度に変わることです。

今回の電力小売全面自由化は大変革で、新規参入の小売電気事業者を加えて乱立するまさに戦国時代の様相です。2月8日までに登録された小売電気事業者は、全国で169社ということ。

参考：[登録小売電気事業者一覧（資源エネルギー庁）](#)

ちなみに、これまで管内の電気事業を独占的に行ってきた東京電力は、4月からの法令改正に伴い、

持ち株会社「東京電力ホールディングス株式会社」傘下で

発電事業→「東京電力フュエル&パワー株式会社」

送配電事業→「東京電力パワーグリッド株式会社」

小売電気事業→「東京電力エナジーパートナー株式会社」

の事業会社に分社化されます。



ここで大切なことは、4月1日から自由化になるからといって、それまでに契約内容など良く理解できていないのに、新たに電気の契約をどこかと結ばないと電気がとまる？と心配する必要は全くないことです。

他社や東京電力エナジーパートナーの新料金やサービス内容が分からなければ、これまでの電気の契約はそのままにしておいても、上記の東京電力エナジーパートナー株式会社が引き継ぐという経過措置（2018年～2020年を終了目途）があります。

新規参入の小売電気事業者大手は「電気代を今より安くできる、使用量が増えるほどお得になる、別の商品・サービスと一緒に契約がお得になる」という宣伝を大々的にしているところもあり、人々の関心をかかっています。

（個人的には、「使用量が増えるほどお得になる」という料金メニューには東日本大震災や原発事故の経験や教訓をもう忘れてしまったのかとがっかりさせられます）

目先の利益につられて早まった契約をしてしまうと、詐欺被害にあったり、安心できる大手でも契約条件によっては、例えば2年間解約ができないとか、解約に多額の違約金を求められ、その後切り換えたい小売事業者が現れて

も、簡単に切り換えにくい等の障壁ができる可能性もあります。

すでに予約販売を始めている業者が多くあり、消費者庁や国民生活センターに入る苦情や相談も次第に増えているそうです。

さて、「環境記者レポート」として、この「電力小売全面自由化」と「環境」はどのように関係するか書きたいと思いますが、長くなりましたので、次回にいたします。

平成28年2月22日

林 彰一（記者NO.120101）

---

**カテゴリ**：平成27年度

**投稿日**：2016年02月22日

## 電力小売全面自由化（２）

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2016年02月24日

今回は、「電力小売全面自由化」と「環境」はどのように関係するかがテーマです。

前回、「2月8日までに登録された小売電気事業者は、全国で169社ということです。」と書きましたが、経産省はこれらの事業者を以下のように分類しています。

- ・電力会社の子会社（7社）
- ・現在の主要な新電力事業者（22社）
- ・LPガス及び都市ガス関係（32社）
- ・石油関係（8社）
- ・通信・放送・鉄道関係（32社）
- ・再生可能エネルギー関連など（太陽光など）（21社）
- ・その他（47社）
- ・現在の電力会社（10社 \*169社には含まれない）

このうち今回自由化される家庭や事務所などへ低圧（50kW以下）の電気を供給する事業者は半数にも及ばないとのこと。

上にあげた分類をみても分かるように、従来電気とは関係なかったガスや石油（ガソリン）、通信、鉄道などの業界からの新規参入が目を見まします。

約8兆円のビッグチャンスがある市場というだけでなく、携帯電話の会社を例にとると、通信サービスと電気をセットにして割安な料金プランを提供することで、利用者が他社のサービスに乗り換えにくくする等の様々なメリットがあるのが新規参入の理由だそうです。

しかし、従来電気を扱ってこなかった新規参入事業者は、売る電気はどうするのでしょうか？

それは、ほとんどが現在の電力会社（4月からは発電事業者と呼ばれます）が発電しているもの（一部、FIT電気と呼ばれる自然エネルギーなど買っているもの）をそのまま卸してもらおうわけです。

その他、現在新電力と呼ばれている事業者の自社発電所の電気や自然エネルギー、卸電力市場で取引される電気からも調達されます。

昨年経産省にできた電力取引等監視委員会が、「電力の小売営業に関する指針」という小売事業者向けのガイドラインをこの1月に制定しました。

色々ありますが、ここで取り上げたいのは「電源構成を開示すること。併せてCO2排出係数を記載すること」を望ましい行為としている点です。事業者への参考として、以下のような「表示の例」が示されています。



細かな解説はここでは致しませんが、現時点の日本で100%太陽光や風力、水力などの自然エネルギーだけで小売ができる事業者は残念ながらありません。

ですが、地球温暖化対策を強く意識して、多くCO2を排出する電源（石油、石炭、LNG等の発電所）の比率を低く

する努力をしている会社、原子力の比率が低い会社、FIT電気（太陽光、風力）などの比率が高い会社など、事業者毎に特色が分かるようになります。

一方で、ただ電力会社の既存の電気をそのまま仕入れて看板を自社のブランドに変えただけという小売事業者も数多くいます。

今回決まったガイドラインでは、この電源構成の開示は義務にはなりませんでしたが、食品の表示ラベルと同様、厳しい選別の視点をもつ消費者を意識すれば全く非開示ということはできないでしょう。

（上記の表示例では業界の平均値など比較できる物差しがありません。火力発電の比率やCO2の比率が多いのか少ないのか分からないので、将来はこれらの付帯情報もセットで開示されるべきでしょう）

さて、もう年明けからテレビコマーシャルや電車の中吊り、雑誌広告等が出て、予約販売が始まっています。しかし、それらは資本力のある会社が多く、特色のある会社のサービスなどまだまだ出揃っていません。

契約されるにあたっては、各社の料金の安さやセット割、料金おまとめ等の利便性だけではなく、上述したようにどんな電源構成なのか他社と比較し、環境問題にも配慮して総合的にじっくり決めていただければと思います。

各社の電源構成開示の状況は「[パワーシフト](#)」のホームページ

が参考になると思います。

ちなみに私の会社の太陽光発電所（[エコロジア第一太陽光発電所](#)、[エコロジア第二太陽光発電所](#)）の電気は、これまで東京電力に販売していましたが、3月半ばから「みんな電力」（本社：世田谷区）という小売電気事業者に電気を卸すことになりました。

野菜とおなじように生産者と消費者を顔のみえる関係にしてつないでくれるというユニークな取り組みをする会社です。

だいたい6月ごろから本格的にサービスが始まるようですが、うちの発電所の電気を袖ヶ浦や木更津のご近所や品川区の皆さんにも買っていただけるようになりますので、大変楽しみにしています。

平成28年2月22日

林 彰一（記者NO.120101）

---

**カテゴリ**：平成27年度

**投稿日**：2016年02月24日



## 第29回環境記者情報交換会

カテゴリ：◆情報交換会

投稿日：2016年02月26日

平成28年2月22日(月)、第29回環境記者情報交換会が開催されました。

●第1部では、まちづくりコーディネーターの佐山吉孝さんから「品川宿の人と風土」というテーマでお話を伺いました。新旧が混在し人情味のある品川の魅力を画像とともにご紹介いただきました。



●第2部は、環境記者の皆さんの活動報告です。

### 【志賀さん】

品川区協働事業として助成を受けて取り組んだ「花いっぱい運動」の町会会館屋上緑化は、今年で7年目に入り常緑キリンソウで毎年黄緑一面の屋上になっています。星薬科大学の構内で銀杏拾いをさせていただき、町会会館前で銀杏の皮むきや天日干しをして立ち寄った人に銀杏を配布したり、暖かくなると八潮へハゼ釣りに行き、持ち帰って素揚げにして隣近所におすそ分けをしたりしています。また、毎年子どもたちにザリガニ釣りを体験させています。これからは、日曜日に親子で参加できる行事を増やしていきたいです。

### 【青野さん】

関東地方の海の中の貝の生息状況にここ2、3年で変化が見られ始めました。海の中で亜熱帯性の貝が見られたり、以前は幼貝のみ見られていた貝が成貝(大人の貝)まで成長していたりして、海の温暖化の影響ではないかと思われまます。京浜運河の中ではまだ感じられないのですが、真鶴半島、三浦半島、房総半島では変化が見られています。また、奄美大島に行っても最近の2、3年で、以前沖縄でやっと見つけた貝が何種類も見つかるようになり、こちらも変化を感じています。

### 【新居崎さん】

「森は海の恋人運動」を推進する気仙沼湾の漁師、畠山重篤氏を取材しました。畠山氏は牡蠣、帆立養殖業のかたわら、気仙沼上流の植樹を続けています。国連のフォレスト・ヒーローズ(森の英雄)に選ばれ、その活動は世界に知られ、影響を与えています。12月に街活プランナーズの活動で「空き家問題と街づくり」のシンポジウムを開催しました。現在品川区に空き家は1700件あります。

### 【小野さん】

私が所属する会社(東京サラヤ◆)とその関係者から有志を募り、聖蹟公園の花壇の花の植え替えと清掃を行っています。この活動は品川区の「みどりと花のボランティア活動」に参加しているボランティア活動で、「品川フラワーレンジャー」として区に登録しています。年2回から3回、季節の花を植え替えています。温暖化の影響か、会社の電気代が減っています。また、会社で育てている夏みかんの収穫量が年々増えていて、気候の影響と思われる。



### 【林さん】

今年4月からの「電力小売全面自由化」となりますが、各社の料金の安さやセット割、料金おまとめ等の利便性だけではなく、どんな電源構成なのかも他社と比較し、環境問題にも配慮して総合的に決めていただければと思います。私の会社の太陽光発電所(エコロジア第一太陽発電所、エコロジア第二太陽発電所)の電気は、これまで東京電力に販売していましたが、3月半ばから小売電気事業者に卸すことになりました。うちの発電所の電気を発電所のある袖ヶ浦や木更津のご近所や品川区の皆さんにも買っていただけるようになりますので、大変楽しみにしています。

す。

#### 【西川さん】

北品川に住んでいます。佐山さんのお話にありましたように、「品川宿」は人間関係が密なところだと思います。温暖化を実感することが色々あります。毎年、暖房を使い始める時期が遅くなっており、今年はまだ暖房無しで過ごせています。また山手通りのさざんかや山椿が咲くのが遅く、持ちがよいようです。

#### 【小滝さん】

品川区防災課主催の「防災アドバイザー研修」に参加し、普段は見過ごしている町の防災設備、いざというときには必要となるものや場所、について私たちひとりひとりが確認しておくことの重要性に気付きました。東京都震災対策条例に基づく品川区の地域危険度ランクを、品川区より昨年配布された防災地図で是非、確認してみるとよいと思います。昨年秋の集中豪雨で品川区に避難勧告が発令されたと聞いたときには、てっきり目黒川周辺域だろうと思いましたが、実際には「上大崎・北品川」の集中豪雨による土砂災害危険箇所が対象だった、ということもありました。

#### 【関根さん】

八潮に20年住んでいます。都立大井ふ頭緑道公園は八潮パークタウンの東に広がる緑道公園で、八潮パークタウンと高速道路・東京貨物ターミナルの間にあります。以前から時々この周辺を散歩しており、すぐ横を高速道路が通っているため、木々が枯れてしまわないかと心配していましたが、都会の真ん中とは思えない森の雰囲気漂っています。昨年は、身近な水環境の全国一斉調査である全国水質環境マップの作成に協力し、なみだ橋から立会川の水質調査をしました。



記者の皆さんの日頃の活動の様子や興味を持っていらっしゃる事柄についてご報告いただきました。

---

**カテゴリ：**◆情報交換会

**投稿日：**2016年02月26日

## 春よ来い 早く来い！！

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2016年03月02日

---

2月半ばの昼さがり、澄みきった冬空に誘われて、久しぶりに京浜運河を歩いてみました。運河を渡る風は、まだまだ冷たさを感じましたが、秋に植えられたあの可愛い菜の花の苗が、今は満開となり、黄色い絨毯を敷き詰めたように綺麗に咲き誇っていて、冷たい風に揺られながらも凜として春を呼んでいるように思えました。



遊歩道の桜のつぼみはまだまだかたく、「只今 睡眠中かなあ・・・」4月の満開が今から楽しみです。



エンジンの音を響かせ「釣り船」が戻ってくると、岸辺で休んでいたゆりかもめ達が、一斉に船に群がりお出迎えなど・・・ カメラを片手に寒さも忘れ、のんびりとどのかな早春の風景を楽しむ事が出来ました。



平成28年2月27日

環境記者 石田雅子 (NO.120102)

---

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2016年03月02日

## このごろの太陽光発電（その3）〈ソーラーシェアリング（2）〉

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2016年03月09日

---

「このごろの太陽光発電」は新聞報道でもご承知のとおり、一昨年までの勢いがなくなってきているようです。政府が決める固定買取価格も年々下がっていると報道されるため、時折、「あなたのところの発電所の採算は大丈夫？」と聞かれることもあります。

「買取価格が毎年引き下げられている」というのは誤りではないのですが、そのままでは誤解され易い表現です。まず大前提として、新規に事業開始する発電所の固定買取価格（買取単価）は再エネ特措法という法律で「20年間（10kW未満の余剰売電は10年間）は固定で不変」と保証されています。

設置価格などは年々下がってきているので、それに見合う消費者負担も減らすため、新規に発電事業を開始する者に対する買取単価は毎年見直しされ、毎年度切り下がってきました。しかし、前年度以前に開始した事業者の単価までさかのぼって引き下げられているわけではありません。

なので、既に自宅に太陽光発電設備を取り付けた人にも、より大きな設備を持っている事業者にも悪影響は与えないしくみになっています。

さて、ではこれから設置したいと考えている方はどうなのでしょう？

来年度の固定買取価格は、2月22日に調達価格等算定委員会より経産大臣に答申されました。それによると、10kW未満の余剰（主に個人住宅の屋根に設置される規模のもの）は、前年度より2円（約6%）下がり、10kW以上の産業用も前年度より3円（約11%）ほど引き下げた案です。

本稿を書いている時点で決定はされていませんが、毎年委員会の案のまま決定しています。

そもそも「固定価格買取」というのは、太陽光発電や風力発電などの自然エネルギー電源を加速度的に増やすために、はじめのうち高くつく設備投資を消費者負担で補助してあげようという法的な制度です。

でも、いつまでも高い価格で買取り、甘やかしていると、設備価格や工事費が下がりにくく、事業者が儲かり、消費者負担の方が重くなるので、適正に買取価格は下げていく必要があるのです。

前述のように来年度も買取価格が下がることは確実の情勢ですから、メーカーや工事業者、設置者は、事業採算性を保つために、より安くより効率、品質の高い発電所を作る努力を求められます。2014年度では、日本の太陽光発電設備の投資コストはドイツの約2倍だったそうですから、もっと安くすることはきっとできるはずですよ。

制度が始まった2012年度から買取価格が4割も下がってきて、「もう儲からなくなった」と一部の業者は撤退していくでしょうが、健全な発展はこれからです。

平成28年3月8日

林 彰一（記者NO.120101）

---

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2016年03月09日

## このごろの太陽光発電（その4）〈ソーラーシェアリング（2）〉

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2016年03月22日

2014年08月7日に投稿しました〈ソーラーシェアリング（1）〉の記事で「詳しいことは、また次回にでも」と書いたままでした。

1年半以上も時間が経過してしまいましたが、今日はその続編です。

ソーラーシェアリングとはどんな姿形をしているのかは、その前回の記事をご覧ください。2003年にこれを発案された長島彬氏によるソーラーシェアリングの定義は以下の通りです。

「ソーラーシェアリングとは農地に降り注ぐ太陽光を、作物生産に必要な量を確保して営農を継続しながら、作物生育に害になる強烈な光線や、利用できない剰余の太陽光で発電を行うこと」



(千葉県いすみ市藤江農園ブルーベリー畑のソーラーシェアリング)

農水省は、**24農振第2657号平成25年3月31日通達**を発して、農地に支柱を立てて営農を継続する太陽光発電設備等についての農地転用許可制度上の取扱いの指針を定めました。

農地でも一定の条件を満たし、審査を通り許可を得れば、ソーラーシェアリング型の太陽光発電設備（架台の柱を農地に立てる）を設置できることになったわけです。

その一定の条件の主なものは、

- 申請に係る転用期間が3年以内の期間であり、下部の農地における営農の適切な継続を前提とする営農型発電設備の支柱を立てることを利用の目的とすること。
  - 簡易な構造で容易に撤去できる支柱として、申請に係る面積が必要最小限で適正と認められること。
  - 下部の農地における営農の適切な継続が確実で、パネルの角度、間隔等からみて農作物の生育に適した日照量を保つための設計となっており、支柱の高さ、間隔等からみて農作業に必要な農業機械等を効率的に利用して営農するための空間が確保されていること。
  - 下部の農地における単収が、同じ年の地域の平均的な単収と比較しておおむね2割以上減少しないこと
  - 下部の農地において生産された農作物の品質に著しい劣化を生じさせないこと
- です。



(千葉県いすみ市藤江農園ソーラーシェアリング空撮)

3年間の転用期間が満了する場合に、改めて上述のような確認を行い、「再度一時転用許可を行うことができる」とされています。

さて、前述のとおり農水省が通達を出したのがちょうど3年前ですから、この制度で許可を受けて設置した事業者は、今年から初回の更新審査を受けることになります。

（このごろの太陽光発電（その5）〈ソーラーシェアリング（3）〉  
に続く）

平成28年3月18日

林 彰一（記者NO.120101）

---

**カテゴリ**：平成27年度

**投稿日**：2016年03月22日

## このごろの太陽光発電（その5）〈ソーラーシェアリング（3）〉

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2016年03月22日

去る3月5日にソーラーシェアリングを各地で実践したり施工をしたりしている仲間が集う交流会に参加させていただきました。そのときに見学に行った千葉県市原市の上総鶴舞ソーラー発電所（写真）を作った高澤さんはソーラーシェアリングを平成25年9月から実践している方です。



発電設備の下の畑は季節によって栽培している野菜が異なりますが、里芋、サツマイモ、大根、カブなどの根菜類、葱、きゅうり、トマトなどを作付けていらっしゃいます。

当日は収穫後に貯蔵し出荷されようとしていた里芋や菜の花を特別にお願いして譲っていただきました。里芋などはかえて標準収量より多く収穫できたそうです。菜の花もおひたしにさせていただきましたが、大変おいしく新鮮な春の味を満喫できました。品質が落ちていたということは全くありませんでした。

（里芋は、私の口に入る前にすべて家族に食べられてしまいました。そのため食感のレポートはできませんが、どういふことか推して知るべしでしょう）



交流会で或る方は、「ソーラーシェアリングによって農作物の収量が落ちたという情報は聞かない。水稲などの品質（味）がかえて良くなったという話を聞く一方、やや落ちたという情報も僅かながらある。しかし、それもそのときの気象条件などの他の要因を含めた分析まではされていないようだ。今後、しっかりと3年間の実績情報を持ち寄り、ソーラーシェアリングを改善、発展させていきたい」と話されていました。

前回ご紹介した伊豆の国市のスマートライフ発電所さんにも後日伺いましたところ、作付した「あきたこまち」は作付面積における全国標準収量530kg（8.8俵）のところ、20◆少ない510kg（8.5俵）の収穫（4%弱の減収）、里芋はほぼ標準収量どおりで品質にも問題なかったという結果だそうです。

夏の農作業時は、太陽光パネルが庇がわりに強い光線と熱を遮ってくれ、冬には霜が降りにくくなるなどの副次的

な効果も見逃せません。

このようにいろいろな情報を総合すると、真面目に運営されているソーラーシェアリングの場合、3年目の更新審査で延長が認められないケースはないのではないかと思います。

農地1反（約1000 $\diamond$ 、約300坪）あたりの農業収入は、水稲で12万円、露地野菜で42万円だそうです。経費を差し引けば農業利益は半分～三分の一にまで減ってしまいます。（2011年政府統計e-STATによる）

こういう厳しい農業経営にソーラーシェアリング型の発電を行い売電収入（1反に49.5kWの設備を設置すれば、目安として130～150万円位の売電収入）を得られれば、農家さんに俄然元気が出てくるのではないのでしょうか？ 若者の就農も増えるに違いありません。

景観や地域条件に配慮した節度ある設備導入と、設置コストの引き下げ努力、適切な金融支援があれば、今後日本の農業とエネルギー問題を解決する決定打に育っていくものと思います。

さらにソーラーシェアリングのことを詳しくお知りになりたい方は、

- [CHO技術研究所 長島彬氏のホームページ](#)
- [長島彬氏の著作「ソーラーシェアリングのすすめ」](#)
- [Sola Share（ソーラーシェアリングポータル）](#)

が参考になります。

平成28年3月18日

林 彰一（記者NO.120101）

---

**カテゴリ**：平成27年度

**投稿日**：2016年03月22日



## マンサクと緋寒桜

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2016年03月23日

---

緋寒桜とマンサク、共に落葉樹ですが先に緋寒桜が咲き、後にマンサクが咲きました。ただし、やや古い情報ですが。

写真左は東海中学校の東側にある緋寒桜（寒緋桜）の写真です。1月末に撮影したものですので、ソメイヨシノが開花した今となつては、時期遅れの情報になりますが、ご容赦ください。この桜の木は、昔荏原神社敷地内にあった同校が、移転する際に神社内の緋寒桜を頂いたという話を聞きました。

マンサクは、都補助26号線（大井町駅から区役所通りを通り、下神明駅に向かう道路）の青稜中高校の付近の植え込みにありました。管理されず荒れていましたが 必死に生きる姿がいじらしく感じました。この写真は3月1日に撮影した写真で、花はよく開ききっていました。マンサクの名前由来は、早春に咲く、「まず咲く」ということから名前が付いたようです。



平成28年3月22日

関根輝彦（記者NO.140102）

---

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2016年03月23日

## さくらを見に出かけよう！（南大井3丁目沿道）

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2016年03月24日

桜の代表といえば「ソメイヨシノ」、  
開花宣言に皆一喜一憂、この盛り上がりは日本人だけでしょうか？  
南大井3丁目沿道にある桜が満開です。

「河津桜」？「彼岸桜」？「大寒桜」・・・？ 品種はなんのでしょうか？

【[ja.wikipedia.org/wiki/サクラ](http://ja.wikipedia.org/wiki/サクラ)】より

日本では固有種・交配種を含め600種以上の品種が確認されている。



数年前に植えられ枝ぶりは小振りですが、花弁が淡紅色でとても可愛い花です。



3月22日撮影

可憐な花が青空に映えています。

「ソメイヨシノ」が満開になるには、あと一週間ほど待たなければなりません。  
待ちきれない方、宴会はできませんが、ちょっと足を延ばしてみてもいかがでしょうか。



平成28年3月23日

真壁美枝子（記者NO.080103）

カテゴリ：平成27年度

投稿日：2016年03月24日

